

2025（令和7）年4月1日

## 北海道新幹線の150mレール貨物鉄道輸送を開始します

～初輸送にあたり出発・到着セレモニーを実施します～

北海道新幹線（新函館北斗・札幌間）に敷設する長さ150mのレールの貨物鉄道輸送を開始します。初輸送のスケジュールが決まりましたので、出発・到着のセレモニーを実施します。

### 1. 出発セレモニー

日時：令和7年4月18日（金） 9時30分～10時15分（予定）

場所：福岡県北九州市八幡東区 貨物ヤード内

概要：150mレール輸送の貨物列車の報道公開

- ・鉄道・運輸機構、JR貨物、日本製鉄株式会社関係者挨拶
- ・テープカット
- ・貨物列車出発の見送り

- ・大幅な輸送障害が発生した場合には、直前でセレモニーを中止することがあります。
- ・セレモニーへの参加は報道関係の方に限ります。一般の方はご参加いただけません。

### 2. 到着セレモニー

日時：令和7年4月21日（月） 13時50分～14時50分（予定）

場所：北海道長万部町 函館本線長万部駅ホーム内

概要：・長万部町住民等による貨物列車到着の出迎え

- ・長万部町関係者挨拶
- ・貨物列車乗務員への花束贈呈

- ・大幅な輸送障害が発生した場合には、直前でセレモニーを中止することがあります。
- ・セレモニーへの参加は報道関係の方に限ります。一般の方はご参加いただけません。

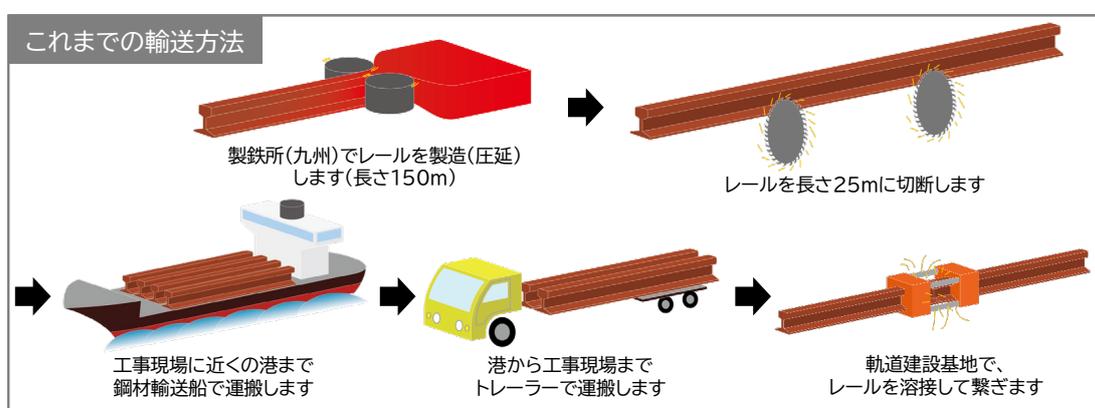
- ・出発から到着までの途中の詳細な運行時刻等は公表しません。

＜本件に関するお問合せ先＞  
経営企画部 広報戦略課 樋口  
TEL 045-222-9101

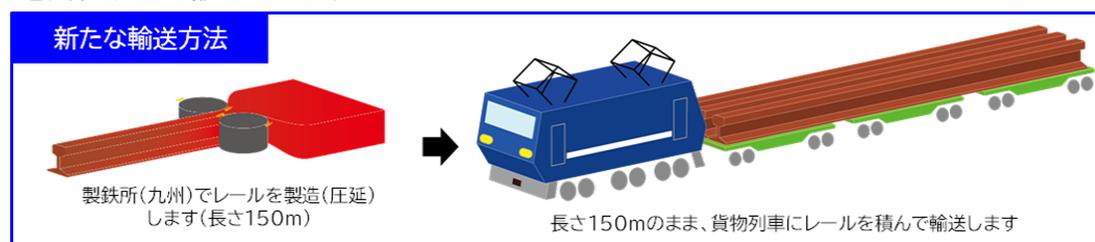
## 150mレール貨物鉄道輸送とは

- ・ 整備新幹線工事で使用するレールを長さ 150m のまま貨物鉄道で輸送すること、また、整備新幹線事業に限らず、青函トンネルを通過し、北海道に向けて 150m レールを貨物鉄道で輸送することは初めての取組みです。
- ・ 150m レールを使用することで、溶接作業が少なくなるため、工程短縮に寄与します。
- ・ レールの弱点である溶接部分が無くなることから、品質が向上します。
- ・ 製鉄所から工事現場まで、積み替えなく一貫して貨物鉄道輸送することで、モーダルシフトに寄与します。

整備新幹線に敷設するレールは、これまで、製鉄所において長さ 150m で製造した後、長すぎて積み卸しや輸送が困難であるため、長さ 25m に切断し、鋼材輸送船、トレーラーで軌道建設基地に輸送して、敷設現場において、再度、溶接していました。



長さ 150m のまま、レールを貨物列車に積載して輸送する方法が確立したこと、また、長万部駅は在来線と新幹線の工事現場が隣接しており、150m のレールを取り卸すことができることから、長さ 150m のレールを貨物鉄道で輸送します。



150mレール貨物鉄道輸送のイメージ

